

第59号

オリガミアンだより

2021年10月30日発行

楽しみなペガサスづくり

「オリガミアンだより」58号で紹介したペガサスを違う向きから撮ったもの。翼の美しさを味わってください。
神谷哲史さんが2014年に発表した。『端正な折り紙』山口 真著 ナツメ社から 難易度★★★★★



単色折り紙を持参してください

出来れば「鶴の基本」も用意を

天高く天馬肥ゆる秋。「オリガミアンだより」第58号で予告しましたように11月2日の練習日はペガサスに取り組みます。講師は榎本安重さん。楽しみです。

皆さんにお願い。ペガサスの折り方を覚えるのにも王道はありません。どの作品でもお願いしているようにペガサスの場合も折り方の1工程1工程を折り紙で愚直に復元しておく必要があります。

1辺15㌢（翼は1辺10㌢が良いかも）の紙を3枚使って糊で貼り合わせます。頭部、胴体は白か薄いブルーが似合いそう。翼は断然白色ですね。ペガサスに挑戦するに当たって市販の単色折り紙を用意していただく必要があります。

トーヨーならNo134 うすみず か No136 みず、No158 しろ あたりでしょうか。練習日までに日がないので、あまり無理は言えませんが、これらを5～6枚「鶴の基本」まで折って持参していただくと助かります。

交流ニュース第100号で「オリガミアン」の活動紹介

ひよどり台 R3.11月号 #100
交流ニュース
交流プラザ 郷友のつどい！
交流プラザでは、地元ひよどり台の学校を卒業した若い人達が、グリンハウス等を利用して同窓会等の集いを開いています。若い人達には家族がいますが、子ども達に自分達の
オリガミアンさん元気です！
交流プラザを利用している折り紙をつくる団体「オリガミアン」さんの情報です。地味だが地道な活動が、週刊新潮で掲載されて一気に全国区になった訳でどんな方の目に触れ、これからどんな反響があるか大いに楽しみです。

いつも会場をお借りしてお世話になっている「ひよどり台交流プラザ」の会報に私たちの活動の一端が紹介されました＝写真。

しかも大きな節目である第100号です。何か良いことがありそうですね。

展示、無事に終了

学園祭終了後、グループ「わ」の行事としてカレッジふれあいコーナーで行われた展示（10月12日～22日）が無事終わりました。

皆さんに協力していただいていたプレゼント用の折り紙23種212個を展示しましたが、きわめて好評で大半が持ち帰られていました。



私たちが折ったニワトリさんも案外こないはずらしているかも。『手塚治虫のマンガの教科書』興陽館

編集：「オリガミアン」代表 熊谷信哉